

# 施術方針

～＜神経の再構築＞～

- ・根本治療とは？
- ・薬はいけないのか？
- ・能力開発とは？
- ・発達とは？
- ・老いとは？

これらの答えは、神経の可塑性にあります。

神経は使わなければ消失し、使えば成長します。神経はこのように「変化」できる性質を持っています。これを「神経の可塑性」と言います。

この「可塑性」によって、人の身体は良い変化も悪い変化も起こります。

痛みや不調は、基本的に身体に何らかの不具合を知らせる「表現」の一つです。

そこでまず、急性痛か慢性痛かを分けて考えます。

- ①急性痛・・・身体に怪我など、何らかの組織破綻がある場合。
- ②慢性痛・・・防御機構によって、痛みや不調を引き出している状態。

ざっくりいうと、このように分けれます。

急性痛は、皮膚・骨・筋肉などの組織の破綻が可視化できるものです。

慢性痛には組織の破綻はありません。防御機構によって身体の緊張が引き起こされた状態です。

防御機構とは、「目」や「耳」「皮膚・筋肉」などを使って集めた情報に問題があると、身体操作が難しくなり、危険を回避するための反応を起こします。

この反応によって、過緊張や意欲低下など様々な問題が起こります。

したがって、この防御機構が働かないように

- ・不具合を起こしている感覚を修正する
- ・適切な情報を元に、適切な身体操作をする

つまり「正確な情報を元に、適切に判断して、適切に行動する」ことが必要です。

このように、新しく適切な神経回路を構築することをre(再び) habilis(構築する) ーリハビリーと言います。

ちなみに薬物療法などは、神経回路を新しく構築することはありません。

新しい神経回路の構築は、意思（脳）と行動（身体）をつなぐ神経回路です。

自分の意思と行動によって、環境に適応し、変化を受け入れ、機能的に調和のとれた状態へと、神経回路を構築する。

これが当院の施術方針です。＜良き観察者＞＜良き応援者＞として、サポート致します。